

第56回ブロック会議（中国）の報告について

日時：2018年4月1日（日）13:00～16:00

場所：協会西中国地区センター事務所

参加者：中央本部 岡事務局次長、久村事務局次長
広島：5名（栗栖、立島、榎田）
傍聴者 池田、栗原
岡山：3名（入江、森脇、吉田）
山口：3名（吉田、秋枝、井上）
山陰：1名（足立）計12名 内傍聴者2名の出席
議長：入江常任理事



・会員数報告

広島（本人会員：296、本人重複会員：5、本人減額会員：5、親単独会員：8、
親重複会員：6、合計320）
山口（本人会員：78、親単独会員：5、重複会員：5、合計83）
山陰（本人員：59、親重複会員：6、親単独会員：1、合計66）
岡山（本人会員：248、親重複会員：8、親単独会員：2、合計258）

・山陰本部の現状について報告（足立）

今回、緊急会議を持った。北國さんは闘病に入る前で、福島さんはひと段落ついた状態です。

福島さんも出席したが、福島さんは遠方での会議出席はまだ困難な状態です。

当面の役員は、一般会員を常任委員にするなど、どうにか次年度の役員体制を決定し、今後も山陰の仲間同士、力を合わせ山陰本部単独で守る会を運営したいと考えているので、ご協力願います。他の県本部から、「安心した。どこの県本部も苦しい時期はある。お互い協力し合いましょう。」と称賛意見が出た。

1. 全国本部事務局次長（岡）あいさつ

・ブロック会議の開催場所については、各県で検討していただいた結果、基に戻し広島・岡山で交互に開催することになりました。山陰本部については、委員長・常任理事とも体調不良で今回欠席されています。皆さんも健康管理に十分気をつけてください。

本日は、運動方針案を中心に議論をしていただきますが、中国ブロックとしての方向性を出して行きたいと考えますので、きたんのない意見を積極的に出して欲しいと思います。

2. 協議事項

（1）全国総会方針（案）討議

○65歳問題

・障害のある仲間が、65歳になっても、今と同じ障害福祉サービスを利用できるよう、協力員活動などを通じて問題を行政懇談会、三者会談、市町、地域包括支援センター等に反映し、障害のある仲間一人ひとりの対応を協会に行ってもらうため、守る会としてひかり協会に協力する事を結論とした話し合いを行った。

岡山

- ・相談支援専門員が、1カ月に標準件数を上回る一定件数を超えてサービス利用支援を行った場合は、標準件数を超えた部分の基本報酬を減額してはどうかと言うことが検討されていると聞いた。行政懇談会で聞いてみたい。また、三者会談での報酬単価の増額の要望を検討したい。

山口

- ・在宅で暮らす障害のある仲間は65歳になると介護保険に移行し、身体介護・移動支援等障害のある仲間の個別性が高く、サービスの利用量もそれぞれ違う。統廃合を目の前にして協会がその個別性に対応してもらえるか心配。
- ・介護保険施設のケアマネさんは、障害福祉サービスと介護保険サービスの両方理解しているケアマネさんは少ない。介護保険施設で、障害福祉サービスも受けられるようになると聞くが不安である。

広島

- ・介護保険優先の原則の適用で、事業所やヘルパーが変わって、長年生活し慣れた環境から一変することは、利用者（障害のある仲間）にとって重大な問題である。
- ・65歳問題において、公共サービスを使ってもなお不足する部分のサービスについては、協会から救済を受けられる体制づくりも必要と考える。

○協力員活動（呼びかけ活動）

- ・呼びかけ活動は、障害のある仲間から要望を聞く事ができる、守る会の活動である。山口では積極的に取り組まれているが、広島・岡山はまだ取り組みが始まったばかりであるが、重傷被害者には電話での呼びかけ活動は困難であり、訪問して兄・姉から状況を聴いている。と言った内容を話し合った。

山口

- ・山口では、障害のある仲間を含めて協力員（呼びかけ）活動を行っているので、65歳以降の障害のある仲間の状況を把握し、協会に要望を上げたい。
- ・知的障害のある仲間のよびかけ活動は、話が続かなかったり、受け答えができない場合があり、これが原因で病む協力員もいた。重度の被害者の呼びかけは協会に返したら良い。

広島

- ・重傷被害者への呼びかけ活動は、すべての協力員が行える事ではない。実施する場合はやれる協力員の希望を取って、報酬も1件やっても大勢やっても1万円でなく、増額を検討してはどうか。

○ふれあい訪問

山口

- ・協会職員も訪問しており、時期をずらして、同じ時期にならないよう守る会が行うふれあい訪問の時期を調整している。

岡山

- ・障害の重い仲間のふれあい訪問を実施している。十分意思疎通がとれないのでかえって迷惑だったかなあと感じたが、後日協会の職員から喜んでおられたことを聞き、ほっとした。最近、夏祭りにも訪問し、兄さんからも感謝され、本人も遠慮しなくなり訪問しやすくなった。

山陰

- ・障害の重い仲間のふれあい訪問に行くと、本人が理解できなくて、きょとんとされる。何度かそんな様子が続いたので、期待されてないのか？と足が遠のいたが、回を重ねる度に少しずつ理解され、最近では親しくなることができた。+

3. 第50回全国総会に向けての提起のための意見交換

山口から代表発言について、活動報告（自慢話し）でもよいのか？という意識合わせの意見が出た。
栗栖常任理事から、代表質問としていた時期の事のなりゆきの説明があり、代表質問から代表発言になった経緯が理解できた。

各県本部とも代表発言を行うことで意識合わせを行った。

4. 役員選考方針（案）および相談役委嘱の討議

全員一致で選考基準、定数、相談役委嘱について同意した。

重責な業務に敬意を表します。健康に留意して遂行して欲しい。（全員の総意！）

5. 全国本部幹事の推薦

広島県本部で選出（^{しんたに}新谷さんの予定）

